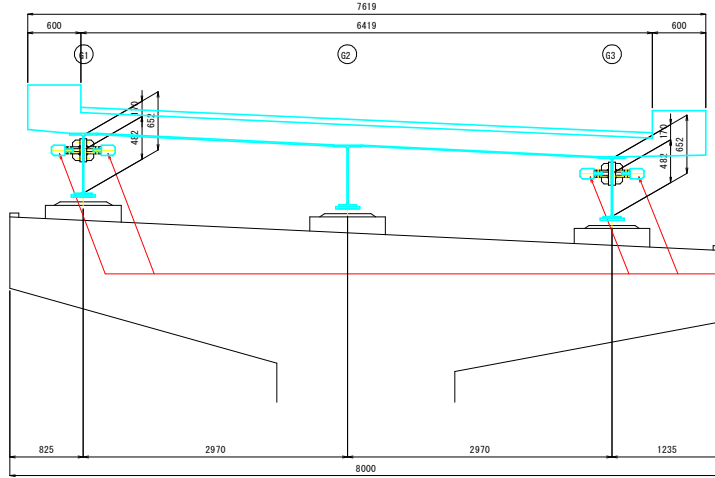


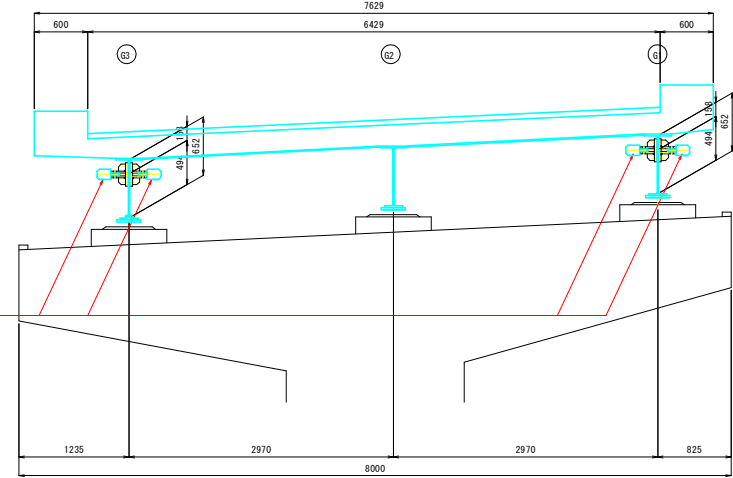
落橋防止構造配置図(その1) S=1:30

P1橋脚

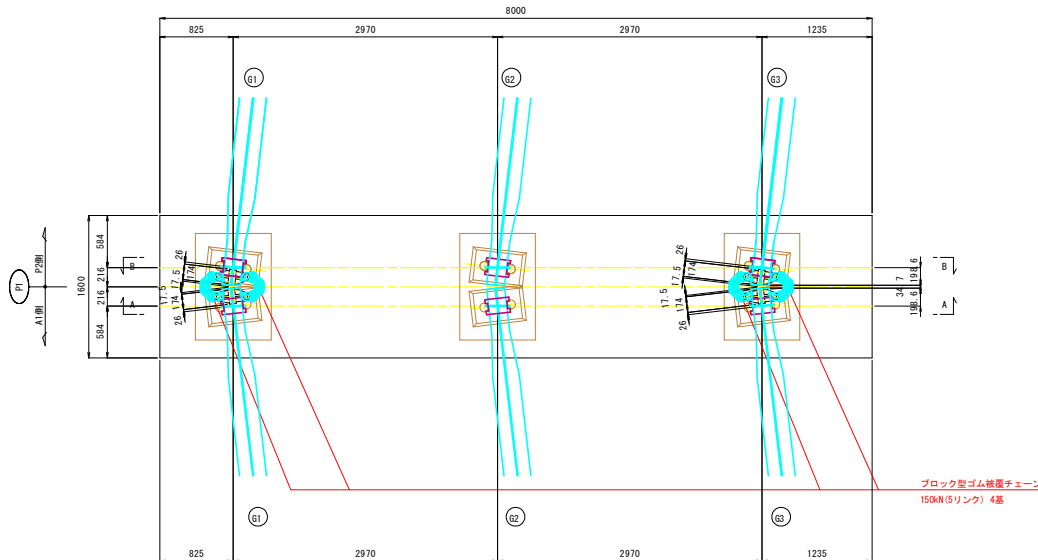
正面図
P1橋脚(起点側)
A-A



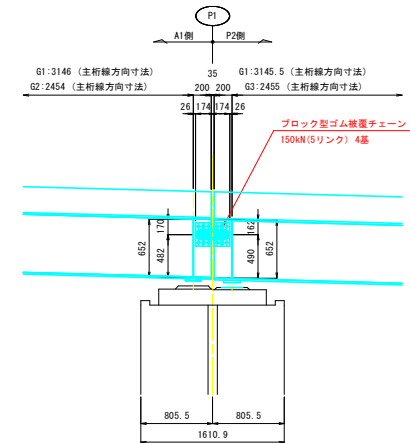
正面図
P1橋脚(終点側)
B-B



平面図



側面図



注記)
1. 製作、施工は、現場実測確認の上、必要に応じて寸法等を調整すること。

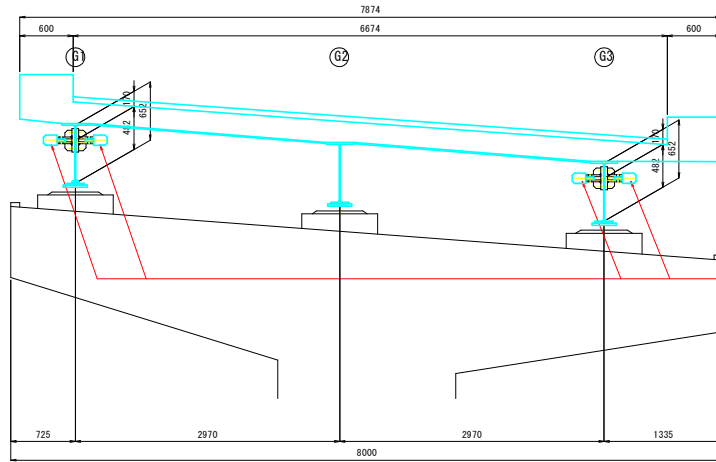
当初設計図面

工事名	R 8 徳耕 広域 徳島東部 3 期 7 の 2 号 橋梁 耐震 工事
路線名等	徳島東部 3 期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	落橋防止構造配置図(その1)
縮尺	1:30 図面番号 2/9
会社名	
事業者名	徳島農林事務所

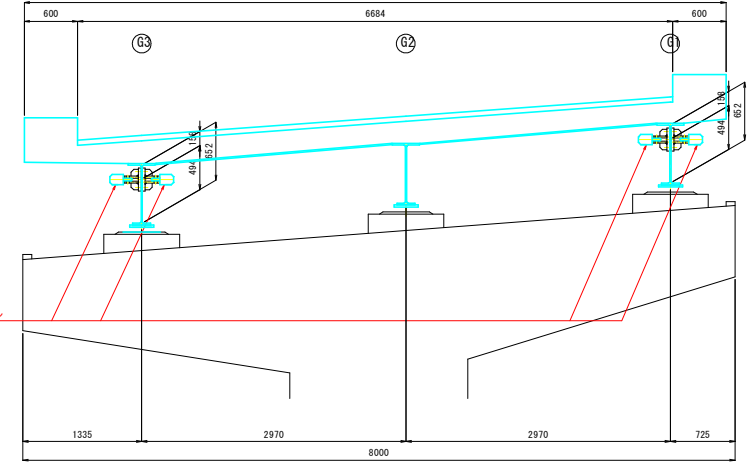
落橋防止構造配置図(その2) S=1:30

P2橋脚

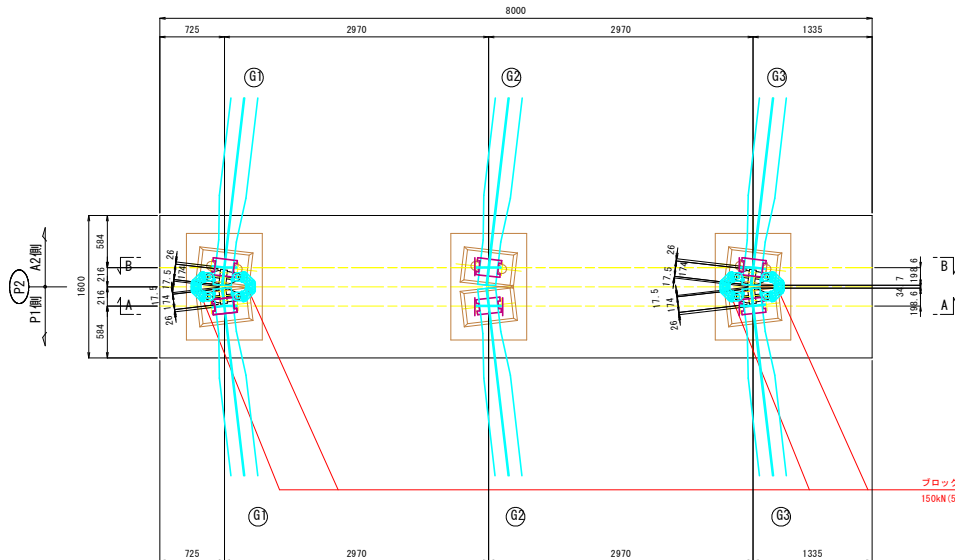
正面図
P2橋脚(起点側)
A-A



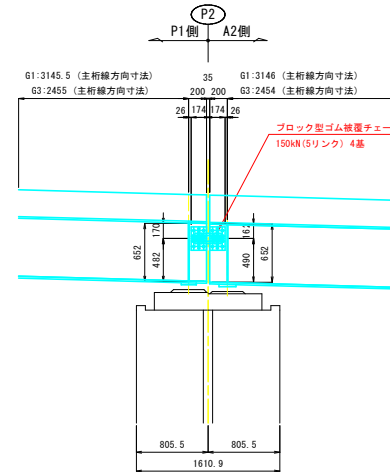
正面図
P2橋脚(終点側)
B-B



平面図



側面図



注記)
1. 製作、施工は、現場実測確認の上、必要に応じて寸法等を調整すること。

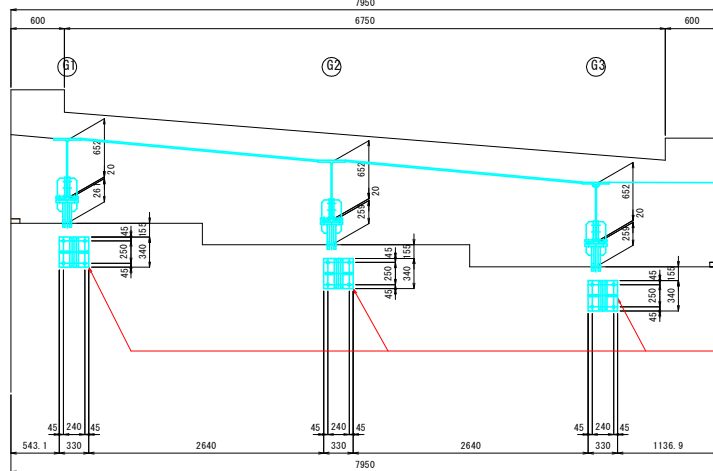
当初設計図面

工事名	R8 徳耕 広域 徳島東部3期 7の2号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	落橋防止構造配置図(その2)
縮尺	1:30 図面番号 3/9
会社名	
事業者名	徳島農林事務所

落橋防止構造配置図(その3) S=1:30

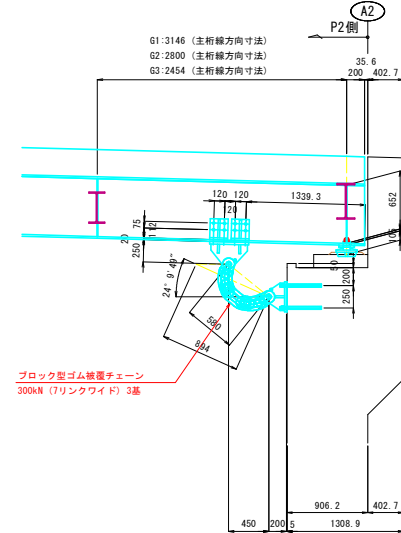
A2橋台

正面図
A-A



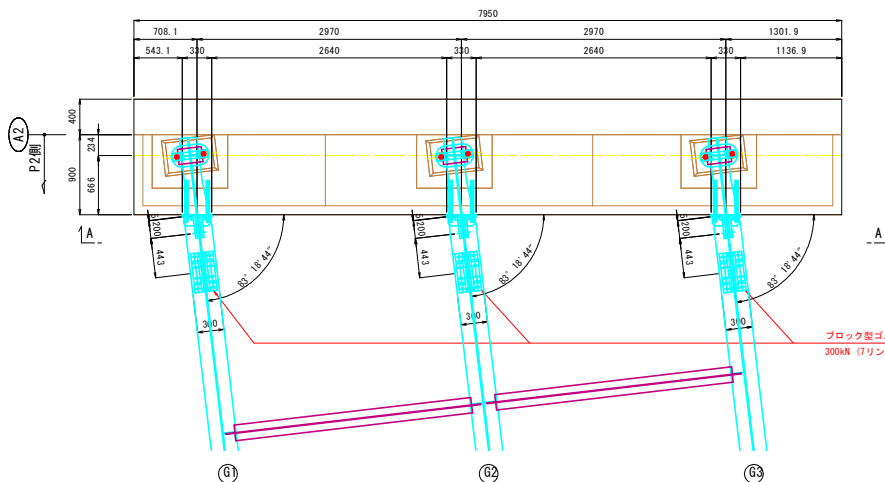
ブロック型ゴム被覆チェーン
300kN (7リンクワイド) 3基

側面図



ブロック型ゴム被覆チェーン
300kN (7リンクワイド) 3基

平面図



ブロック型ゴム被覆チェーン
300kN (7リンクワイド) 3基

注記
1. 製作、施工は、現場実測確認の上、必要に応じて寸法等を調整すること。

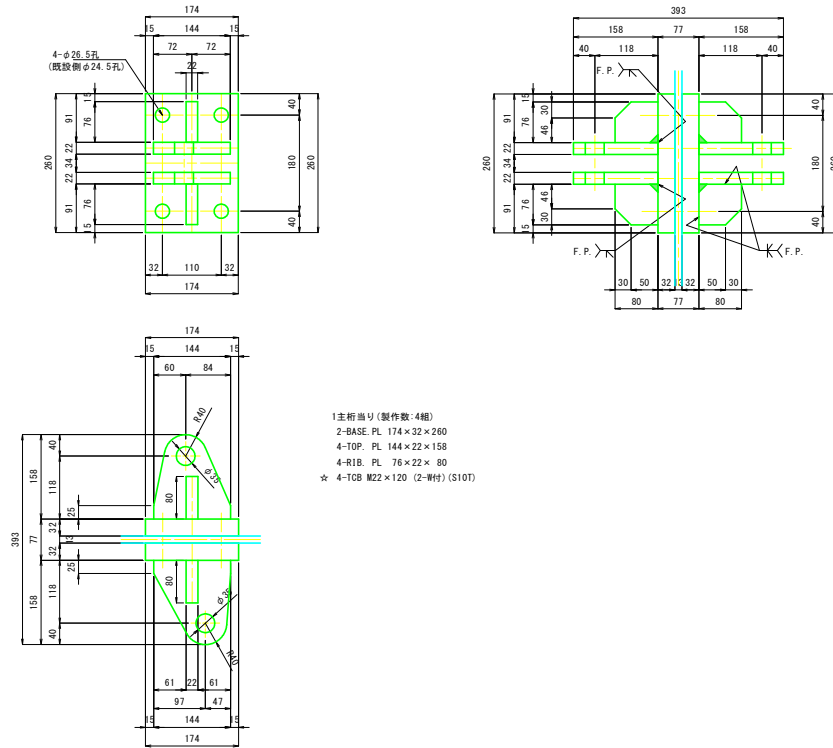
当初設計図面

工事名	R8 徳耕 広域 徳島東部3期 7の2号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	落橋防止構造配置図(その3)
縮尺	1:30 図面番号 4/9
会社名	
事業者名	徳島農林事務所

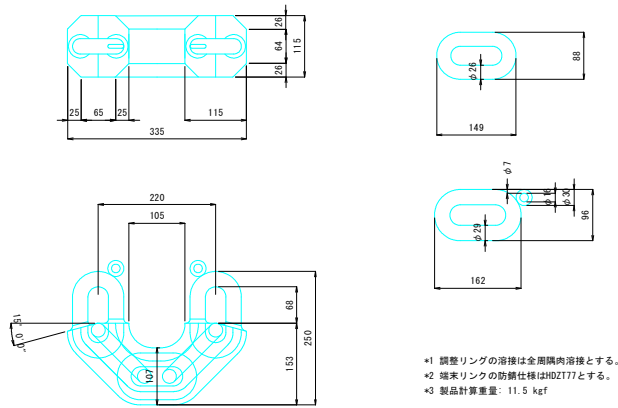
落橋防止構造詳細図(その1) S=1:5

P1橋脚

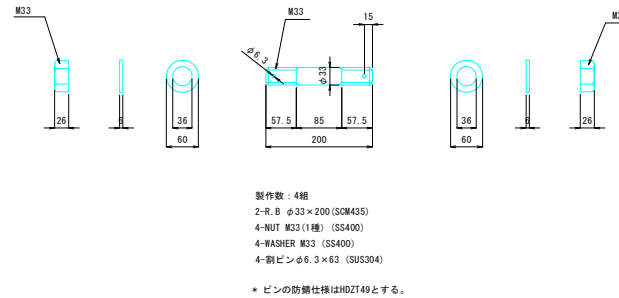
ブラケット詳細図



ブロック型ゴム被覆チェーン 150kN 【5リンク】



ピン詳細



- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
 2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付着量は、JIS H8641 HDZT77とする。ただし、ボルト・ナット類はHDZT49とする。
 3. ☆印のTCB M22 (S10T)は、メッキ塗装とする。
 4. ボルト孔は新設部材φ26.5孔、既設部材φ24.5孔とする。
 5. 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。

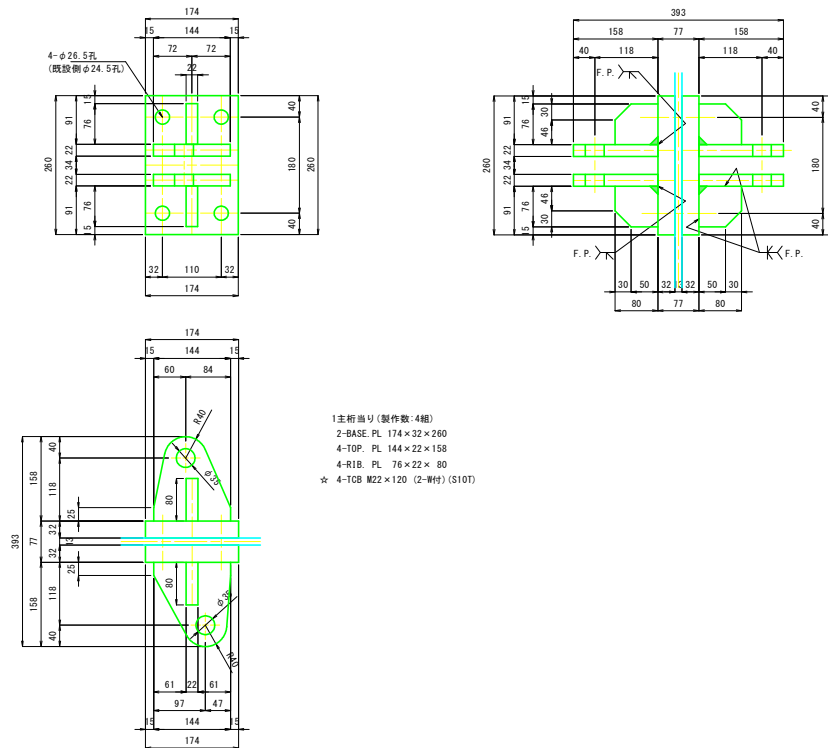
当初設計図面

工事名	R 8 徳耕 広域 徳島東部 3 期 7 の 2 号 橋梁 耐震 工事
路線名等	徳島東部 3 期 地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	落橋防止構造詳細図(その1)
縮尺	1:5 図面番号 5/9
会社名	
事業者名	徳島農林事務所

落橋防止構造詳細図(その2) S=1:5

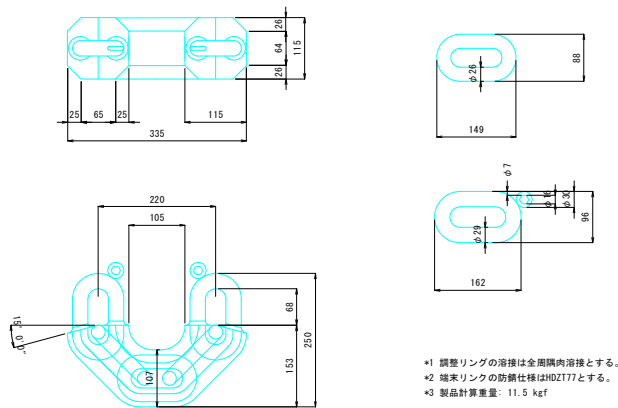
P2橋脚

ブラケット詳細図

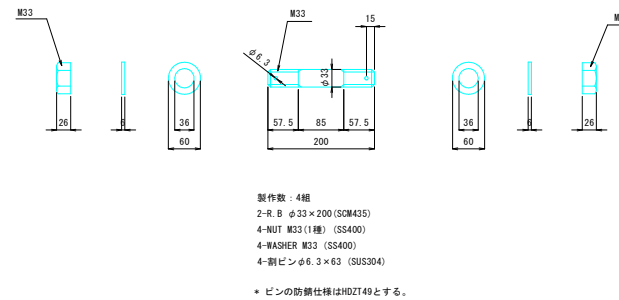


ブロック型ゴム被覆チェーン

150kN 【5リンク】



ピン詳細



- 注記)
- 特記なき材質は全てSM490VBとする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H8641 HDZ177とする。
ただし、ボルト・ナット類はHDZ149とする。
 - ☆印のTCB M22 (S10T)は、メッキ塗装とする。
 - ボルト孔は新設部材φ26.5孔、既設部材φ24.5孔とする。
 - 工場製作は現場計測の上、最終決定のこと。

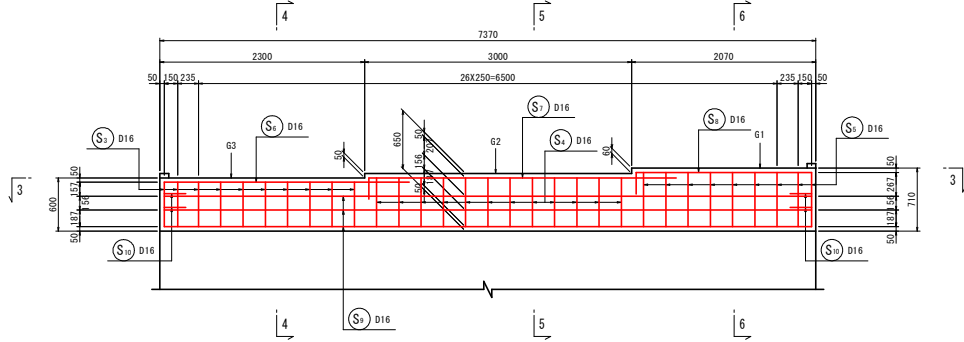
当初設計図面

工事名	R8徳耕 広域 徳島東部3期 7の2号橋梁耐震工事
路線名等	徳島東部3期地区
工事箇所	勝浦郡勝浦町
図面名	落橋防止構造詳細図(その2)
縮尺	1:5 図面番号 6/9
会社名	
事業者名	徳島農林事務所

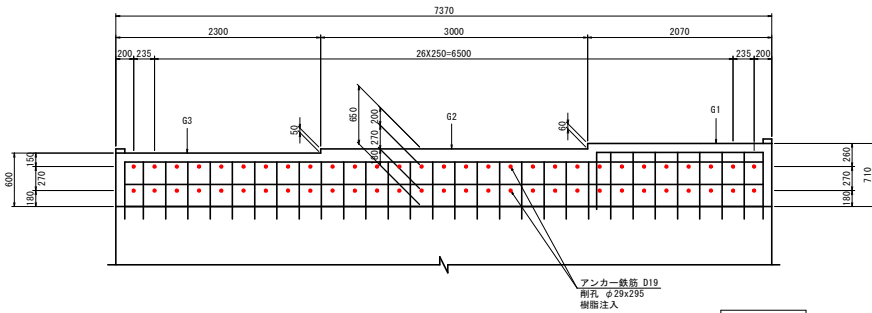
落橋防止構造詳細図(その4) S=1:30

A1橋台沓座拡幅配筋図

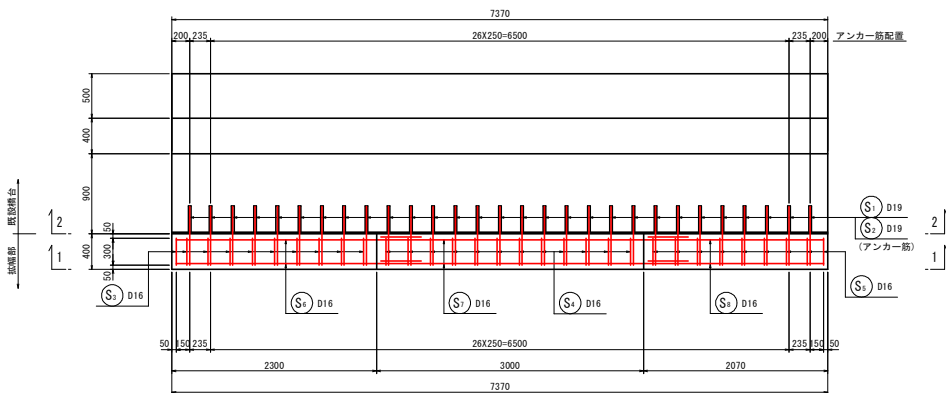
1-1
(正面図)



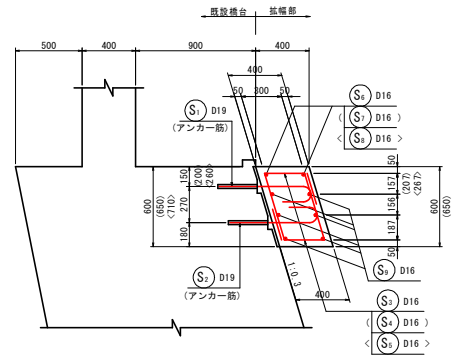
2-2
(アンカー削孔位置)



3-3
(平面図)

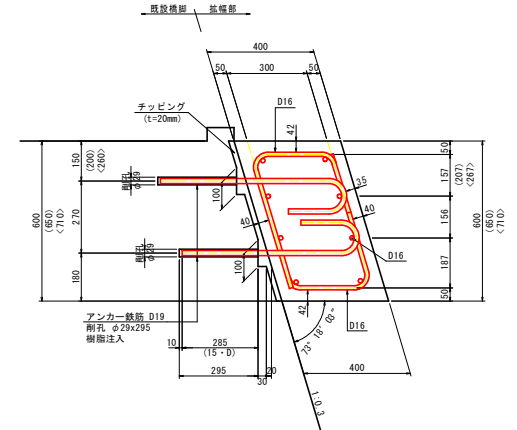


4-4 (5-5) < 6-6 >
(断面図) S=1:20



注) ()内は5-5断面、< >内は6-6断面の鉄筋と寸法を示す。

かぶり詳細図 S=1:10

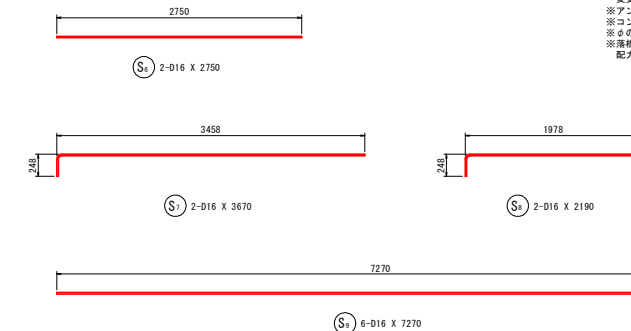
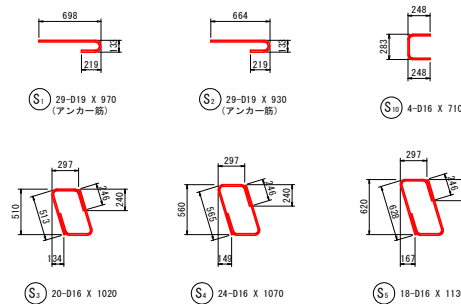


注) ()内はG1付近、< >内はG1付近の寸法を示す。

鉄筋質量表 (SD345)

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要	
S 1	D19	970	29	2.25	2.18	63	U	
S 2	D19	930	29	2.25	2.09	61	U	
S 3	D16	1020	20	1.56	1.59	32	U	
S 4	D16	1070	24	1.56	1.67	40	U	
S 5	D16	1130	18	1.56	1.76	32	U	
S 6	D16	2750	2	1.56	4.29	9	U	
S 7	D16	3670	2	1.56	5.73	11	U	
S 8	D16	2190	2	1.56	3.42	7	U	
S 9	D16	7270	6	1.56	11.34	68	U	
S 10	D16	710	4	1.56	1.11	4	C	
							327	
合計 D19				124	kg			
D16				203	kg			
総質量				327	kg			

注記) ※コンクリートの設計基準強度はσ_{ck}=24N/mm²とする。
 ※施工に先立ち現場検査を行い仕様決定を行うこと。
 ※既設コンクリートへの削孔の際は鉄筋探査を実施して既設鉄筋を切断しないように十分注意すること。
 ※現場地でアンカー筋の配置位置を変更する場合、有効高が高くなる方向に変更すること。
 ※アンカー鉄筋の定着は既設橋台面より軸方向に15・D以上を確保すること。
 ※コンクリート打設後、十分な養生を行うこと。
 ※削孔径は、鉄筋径+10mm程度とする。
 ※落橋防止構造のアンカー筋の配置位置を変更する場合、容座拡幅内の配筋筋の位置を適宜調整すること。



当初設計図面

工事名	R 8 徳耕 広域 徳島東部 3 期 7 の 2 号 橋梁 耐震 工事
路線名等	徳島東部 3 期 地区
工事箇所	勝浦郡 勝浦町
図面名	落橋防止構造詳細図 (その 4)
縮尺	1:30 図面番号 8 / 9
会社名	
事業者名	徳島農林事務所

